



図書館から

新しい本が入りました
アンダー・ザ・ドーム
上下
スティーヴン・キング／著

巨大で透明なドームに封鎖された小さな町に恐怖と狂乱が充満する。町民たちは脱出できるのか？

小説



までのい

「までのい」特別編成チーム／編集

福島県飯館村を襲った悪夢のような地震と原発事故。「までのいライフ」を掲げる村を紹介した本書では、3月11日地震以前の美しい飯館村が描かれています。

一般書

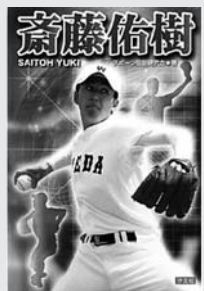


斎藤佑樹

スポーツ伝説研究会／著

児童書

たぐいまれな野球の才能と、信じられないほどの強運を持った斎藤佑樹。夢だったプロ野球選手になるまで、一体どんな人を生を歩んできたのか。



温水プールKAPPAオープン



大勢の子どもたちでにぎわう

温水プール「KAPPA」が4月29日オープンしました。大勢の子どもたちが詰めかけ、流水プールなどで歓声を上げていました。また、大型連休中の5月3日から5日までは無料開放され、町内外から家族連れなど大勢の方が詰めかけていました。

大型連休初日の4月29日、町制施行60周年記念の子どもまつりと古本市が公民館で開かれました。今年度は、東日本大震災の被災地への「お見舞い」の気持ちを込めた内容にしました。子どもまつりでは、大きなこいのぼりに子どもたちの応援メッセージを張り、町のホームページで紹介しました。また、古本市では売上金を義援金とし、被災地に贈らせていただきました。

被災地へ応援メッセージ



子どもまつり・古本市を開催



信号をしっかりと確認、手を挙げて

幼稚園交通安全教室

訓子府幼稚園の交通安全教室が5月20日に行われました。園児たちは、交通安全のビデオを見たあと、ポケットパーク前の交差点で横断歩道を渡る練習を行いました。元気に手を挙げて、左右確認など十分に安全を確認しながら横断歩道を渡っていました。



開拓記念日のつどいで 町の発展を誓う

開拓記念日のつどいが5月9日、居武士小学校校庭にある^{せいしゅうひ}旗頌碑前と中央公園内の開基百年記念碑前で、約50人が参加して開かれました。

明治30年5月8日に、高知県の北光社移民団が未開の大地・訓子府に入植したことから、先人の労苦に感謝し新たな発展を願い、毎年この時期につどいを開催しています。

旗頌碑前では、居小児童も参加。先人に黙とうを捧げたあと、児童を代表して中しずくさんが「先人の築いた豊かな訓子府をより豊かにしていくためがんばります」と誓いの言葉を述べました。続いて、中央公園に会場を移し、平成8年に高知県東津野村（現・津野町）から贈られた開基百年記念碑前で黙とうが行われ、菊池町長が町の発展を願うあいさつを行いました。

開基百年記念碑前



旗頌碑前



まちのわだい



子どもたち元気に目的地へ



遠足。楽しいなあ

訓子府小学校の遠足が5月20日に行われました。この日は、早朝雨が降り中止も検討されましたが、出発予定の時間にはやや明るい曇り空となり、児童は元気に出発しました。目的地は、レクリエーション公園や北見農業試験場、さらに北見市など徒歩やバスでめざしました。目的地で遊んだり、お弁当を食べるなど、児童は楽しい一日を過ごしていました。

居武士小学校

1年生を迎える会で楽しく

訓子府小学校



新入児童を迎える「1年生を迎える会」が、訓子府小学校と居武士小学校で4月28日にそれぞれ開かれました。新1年生は、訓子が40人、居小が5人。上級生から手作りの作品をプレゼントされたり、さまざまなゲームをして楽しみました。

